

イメージマップ

【概要】



ある特定のキーワードについて、受講生1人ひとりがどのようなイメージを持っているのか共有をしたい時に用いるのが「イメージマップ」です。人によって持っているイメージや解釈が異なる事をキーワードとして取り上げると、違いについて議論がしやすくなります。

【目的】



- キーワードに対するイメージを可視化する
- 1人ひとりが持つイメージの違いを議論しやすくする

【所要時間の目安】



- やり方の説明：約1分
- イメージマップの作成：5分

【準備物】



- イメージマップを書くためのワークシート（中心の円にはキーワードを書いておく）

活動サンプル

活動の流れ

①ワークシートの配布，やり方の説明（1分）

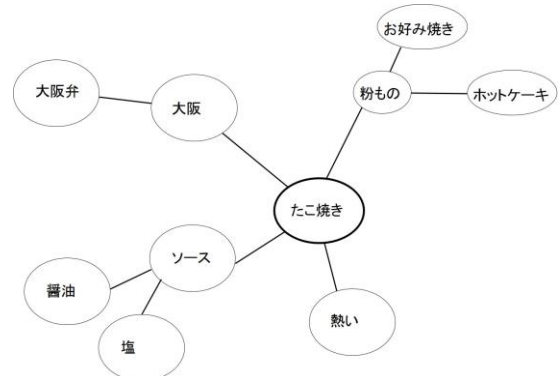
- ・1人1枚配布する
- ・中心の円にあるキーワードに関して，思いつく言葉を書くよう指示する

②イメージマップを作製する



- ・思いついた言葉を○で囲み，さらにその言葉から思いつく言葉を書いて○で囲む。

留意点



一層，二層を区別する事，感情や経験など条件を決めて分類するとより深い分析が可能に！

イメージマップはブレインストーミングと異なり，思いついたキーワードを書く段階で整理する事ができます。例えば，はじめに思いついたキーワードを第一層として○で囲み，そのキーワードから派生して思いついたキーワードは□で囲むなどすれば，第一に思いついたキーワード群とそうでないキーワード群で整理する事ができます。その他にも，自身の感情に関する事や，実際に体験に基づくもの，ニュースで聞いたものなど，授業者側で条件を指定する事でより詳細な整理をする事が可能となります。イメージを書く際の条件付けをする事で，分析をするためのツールとしても利用可能となります。